

札幌市環境局環境都市推進部 発表

Press Release



1. 水と森と空気から考える、みらい
2. エネルギーから考える、みらい
3. ごみと資源から考える、みらい
4. いのちから考える、みらい

発表日 2025年3月28日

**清掃工場で発電した電力を供給し、
地下鉄3路線で消費する電力を100%ゼロカーボン化します**

札幌市では、2050年までに市内の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする、いわゆる「ゼロカーボンシティ」を2020年に宣言するとともに、2021年3月には「札幌市気候変動対策行動計画」を策定したほか、2022年11月に国の「脱炭素先行地域」に選定されるなど、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めているところです。

その取組の一環として、2024年4月より本市の3清掃工場で発電された電力の余剰分を地下鉄3路線へ供給することで、地下鉄3路線で消費する電力の約70%をゼロカーボン化する電力の地産地消事業を実施しています。

2025年4月には、3清掃工場のうち、新しく建て替えた駒岡清掃工場の発電能力がこれまでの3倍になることにより、地下鉄3路線で消費する電力の100%がゼロカーボン化される見込みです。

3清掃工場の余剰電力を地下鉄3路線へ供給する取組みの概要

【規模】

- 地下鉄3路線の消費電力量は約1億2,000万kWh/年であり、すべての電力がゼロカーボン化される。

【仕組み】

- 余剰電力を北電へ売電し、そのうち発電されている時間帯と、地下鉄3路線の稼働している時間帯が一致する電力は、清掃工場由来の電力と環境価値を地下鉄3路線へ供給する。
- 地下鉄3路線が稼働していない時間帯に発電される電力は、電力と環境価値を切り離し、環境価値だけを北電の電源構成の電力に付与して地下鉄3路線へ供給する。

【イメージ図】



【3清掃工場】



【北海道電力株式会社】



【地下鉄3路線】

※ : 清掃工場の余剰電力 : 清掃工場の環境価値 : 北電の電源構成の電力

供給開始日

2025年4月1日～

札幌市環境局環境都市推進部 発表

Press Release



1. 水と森と空気から考える、未来
2. エネルギーから考える、未来
3. ごみと資源から考える、未来
4. いのちから考える、未来

二酸化炭素削減効果

年間 CO2 約 64,000 トン削減（一般家庭約 16,000 世帯分相当）

※一般家庭の CO2 排出量は灯油など電力消費以外で発生する CO2 も含んだ値で換算

お問い合わせ

本件につきましては、以下担当までお問い合わせください。

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目
札幌市環境局環境都市推進部環境エネルギー課 樫山、稲辺
TEL 011-211-2872 FAX011-218-5108